

### 1 自己評価及び外部評価結果

#### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1092600129		
法人名	有限会社 たじま		
事業所名	グループホームつつじ苑		
所在地	群馬県吾妻郡中之条町大字中之条1771-2		
自己評価作成日	令和2年8月17日	評価結果市町村受理日	

#### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・お年寄りのために地域に根ざした介護をし、地域社会に貢献する</li> <li>・生活への不安を解消し、質の高いサービスを提供する</li> <li>・安心して生活が送れるよう、よりよい環境づくりをする</li> </ul> 地域密着での心からの介護サービスが出来るよう取り組んでいく
---

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

#### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

コロナ禍での利用者の様子や事業所のコロナ対策を通信で家族に知らせたり、家族と利用者を玄関で面会できるようにし、家族に手紙を送る利用者や支援する等、通信、面会、手紙という手段を用いて家族と利用者の繋がりを断ち切ることなく、その関係性を大切に、理念にある「安心した生活」を具現化するとともに、家族にも安心感を与える支援をしている。前任者に代わってまだ日が浅い管理者ではあるが、一人ひとりの利用者の特徴を把握し、理解することによって個別支援につなげている。管理者と職員の努力と工夫が日々の取り組みの中にかがえる。
---

#### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	サービス評価センターはあとらんど		
所在地	群馬県高崎市八千代町三丁目9番8号		
訪問調査日	令和2年9月11日		

#### V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念を掲示板に貼り、職員が確認、理解し実践できるよう努めています	事業所理念は廊下に貼り出し、職員全員が覚えるよう努め、利用者に安心して生活してもらえるよう支援することを柱とし、実践に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナの影響で地域との交流ができていません	地域の祭りや行事に参加し、住民と交流を図っている。また、他の施設と合同で行われる行事にも参加している。地元の利用者が多く、知り合いの人が遊びに訪れることもある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	新型コロナの影響で地域との交流ができていません		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	新型コロナの影響で外部の人との会議は出来ませんが、施設関連メンバーで報告、話し合いを行い、外部の人には書面で報告させていただいています	隔月で開催されている。同日に防火訓練やクリスマス会、音楽会、納涼祭等、事業所の行事を行うため家族の出席も多く、活発な意見交換や話し合いが行われ、サービス向上に活かされている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市町村担当者と密に利用者情報の連絡、相談を行っています	管理者、事務長、ケアマネジャーが相談、報告に出向いている。また、ケアマネジャーが認定調査の立会いや、家族の要望があれば申請代行をしている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のない支援について、資料を参考に施設内で話し合いをしています	玄関は開錠しているが、内側の引き戸は開け閉めしている。他の身体拘束はなく、3ヶ月ごとに身体拘束適正化委員会を開催し、拘束のない支援について勉強会を行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	声掛け、態度など気づいた時は、その都度話し合い、虐待行為が起こらないよう教育しています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	新型コロナの影響で、研修会参加はしていないが、資料を基に理解を深めるようしています		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時ご家族に説明し、ご理解いただき契約書に署名、捺印していただいています		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	新型コロナの影響で面会制限をさせていただいていますが、意見や要望がありましたらいつでもご連絡いただくよう入居時に説明しています	帰宅願望や家族と一緒にの外出を望む利用者については、家族に利用者の気持ちを伝え協力を仰いだり、家族の面会時に利用者の状況を伝え、意見や要望を聞くようしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングを定期的に行い、意見交換の時間を設けています	職員の意見や提案は、日常会話の中や月1回の施設会議で話し合っている。介助の仕方や言葉がけを共有し、統一したケアを実践している。夜勤等働き方についての要望も運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者には就業環境の整備に努力していただいています		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者には、職員を育てる取り組みに努力していただいています		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	新型コロナの影響で、勉強会や交流はもっていませんが、ネットワークで情報を得ています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時アセスメントを行い、担当者会議で検討し本人が安心して生活が出来るように努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族との会話の中で、困った事や不安な事を理解するよう、職員全員で努めています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントを丁寧にとり、関連施設と連携し必要なサービスが提供できるように努めています		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	家族に近い存在となるように、利用者様の不安や苦しみ、喜びを知る事に努め、信頼関係を築いていけるように努めています		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	新型コロナの影響で、面会が制限されているため電話で直接話しをしていただいたり、日頃の様子など伝えさせていただいています		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	新型コロナの影響で面会が制限されているため、電話、手紙などで関係が継続出来るよう支援させていただいています	現在は訪問者と玄関ホールで面会している。家族への手紙の宛名を代筆し、投函を支援したり、野菜を育てること、得意な料理を手伝う機会を設け、馴染みのことが継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の会話に耳を傾け、問題行動や言動時にはすぐに対応し、楽しく過ごせるように心がけています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	相談、支援に努めています		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入所時に、本人、ご家族様より希望を聞いてできるだけご希望に沿えるよう努力しています	入居時に管理者も同席してケアマネジャーと利用者、家族の思いや意向を聞き、安心して生活できるよう介護計画に入れ、ケアの実践につなげている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	これまでのサービス利用の経過の把握に努め、継続出来るものは引き続き継続できるように努めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日健康状態や一日の過ごし方の観察、記録をし情報共有しています		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議や訪問診察時に話し合いの機会を持ち、介護計画作成に活かしています	利用者に変化があったり、更新時には担当者会議を開き、計画の見直しをしている(3~6か月ごと)。毎月モニタリングを行い、カンファレンスでの内容を介護計画作成に活かしている。	介護計画は個別の支援となるよう、利用者の思いやできること等、特徴ある課題を入れて作成してはどうか。また、計画に沿った記録にも取り組んでほしい。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録用紙の記載、業務日誌の記録を行い情報共有しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様の状況に変化があった場合、支援方法の検討を行います		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	新型コロナの影響で、地域資源の活用は出来ないが、施設内でレクレーションなどしながら楽しく暮らせるように支援しています		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期的な診察、体調の変化時は受診をしています。またご家族のご希望時には、かかりつけ医の受診を行っています	かかりつけ医か協力医かの選択ができることを説明している。協力医の往診は月1回、歯科は必要に応じて訪問歯科を利用している。他の専門医を受診する際は通院支援をしている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	隣接する病院の看護師へ相談、必要時受診させてもらっています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	隣接する病院との連携を行い、入退院時のカンファレンスに参加し情報交換、相談を行い関係づくりを行っています		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	定時の訪問診察や体調の変化時は受診し、必要時医師から家族へ説明し方針を共有させていただいています	看取りはしないことを説明している。利用者の状態が悪くなった時点で病院へ移り、医療を受けている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生後は振り返りを行ない、原因、対応、連絡について確認し、次回につなげられるようにしています		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	防災訓練を年2回と関連施設の防災訓練に参加し、災害時の対処法、避難方法について訓練しています	年2回の総合避難訓練を実施し、ハザードマップで地域特有の災害はないことを確認している。備蓄は特にしていないが、冷凍食品や排泄用品の在庫を確保している。	万が一の時、利用者、事業を守るため自主訓練を実施し、避難技術を身に付けるため回数を重ねる他、備蓄を充実させることに取り組んでほしい。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇や認知症の人への接し方などの資料を参考に言葉かけや対応法について注意しています	話しかける言葉や呼称を苗字にさん付けすること、おむつの使用が他の利用者にわからないようにしたり、異性介助の時は承諾を得る等、利用者のプライドを傷つけない配慮を心がけている。	利用者のプライドを守ることが安心感につながるので、声かけの言葉や丁寧な話すことに配慮する取り組みをしてはいかがか。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	自分の思いや希望が言い出しやすいよう働きかけ、実現可能な時は支援しています		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事やレクレーションの時以外は一人ひとりがテレビを見たり読書をしたり自由にしています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	理容は希望を聞いて散髪をしていただいています 衣類は季節にあった衣類が選択できるように支援しています		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べたいメニューを聞いたり、季節感のあるメニューを取り入れるようにしています	病院のメニューを参考に献立を作成し、材料をコープから調達し、旬の物や食べ慣れた手作りの食事を提供している。季節に合ったおやつも楽しんでいる。手伝いをしたり、家族と外食する機会もある。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	隣接する医療機関や管理栄養士にも相談しながら、各人に適した食事、水分の摂取に努めています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行い、必要時歯科医からアドバイスを受けています		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	定時のトイレ誘導、介助を行っています また行動やしぐさなどからトイレ誘導をしています	トイレでの排泄を基本としているが、日中はトイレ、夜間はポータブルトイレを使用する等、利用者の状態に合わせた支援をしている。 ポータブルトイレ使用時は臭いに注意し適切な処理を心がけている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日排便の確認を行っています 水分、乳製品の摂取や軽い運動を取り入れています		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週2回(4日間のうち)希望の日に入浴してもらっています	機械浴であるため、利用者から入浴したいという申し出は少ない。入浴日は利用者ごとに決まっているので、前日に入浴した利用者には声かけをしていない。	入れそうな人、入浴が好きな人には「どうしますか。」と声かけをして、いつでも入浴ができることを情報として提供してほしい。
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	食休みされる方、テレビや音楽を楽しまれる方、個々に対応しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の薬剤情報を確認し、状態の変化に気付くように努めています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者が得意な事、好きな事を把握し生活の中に取り入れています		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	新型コロナの影響で外出は出来ないが、屋外に散歩に行き、花を見たり気分転換ができるようにしています	日常的には中庭にある花(バラやつつじ)を見に行ったり、散歩に出かけている。また、家族との外出の機会を支援している。	



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族に管理をお願いしています		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	新型コロナ感染対策で面会が中止されているため、電話や手紙の対応ができるようにしています		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	整理整頓に努めています テレビなどの音量、照明、温度調整など気を配っています カレンダーや季節の花も飾っています	共用空間は大人の設えを念頭に、臭いもなく清潔で、整理整頓が行き届いている。また、温度調節や採光等にも配慮し、利用者が居心地よく過ごせる空間作りをしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールの他、玄関や廊下にソファを用意し、いつでも利用できるようにしています		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れた物などを持ち込んでいただき生活しやすいように工夫しています	居室にはテレビ、寝具、本、カセット、筆記具等身の回りの物がある。ぬり絵をしたカレンダーを飾ったり、鉢植えの花や摘んできた花を楽しむ馴染みの生活が送れるよう工夫ある支援をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ホールの座る場所、トイレに近い部屋など利用者の状態に適した位置を検討し、安全に過ごせるようにしています		